

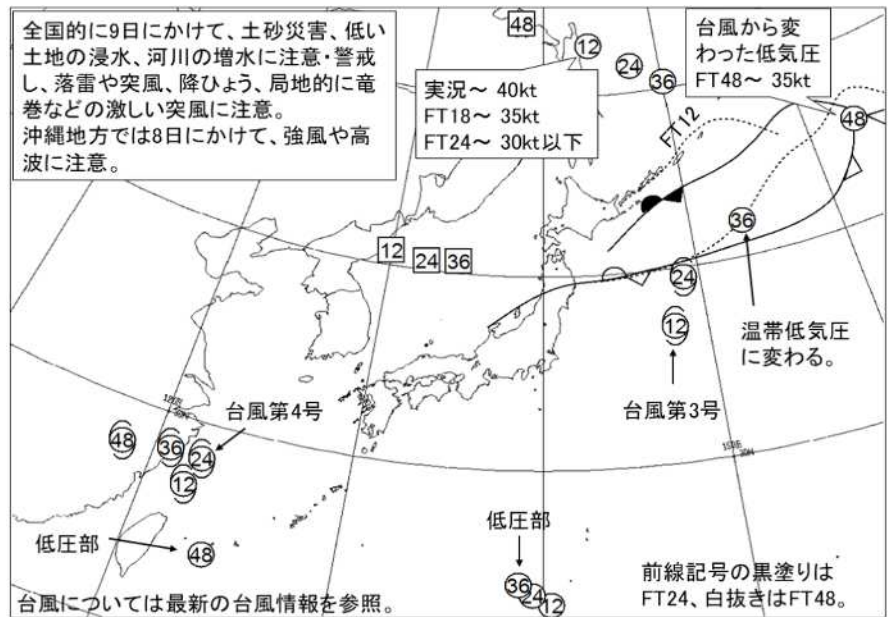
短期予報解説資料 2025年7月7日15時40分発表

気象庁

訂正箇所：標題を短期予報解説資料に訂正。5. 全般気象情報発表の予定を17時頃に訂正。

1. 実況上の着目点

- ① 台風第4号が台湾海峡を北北東進。台風周辺の下層暖湿気の影響により、沖縄近海では、強い雨を解析し、雷を検知。また、強い風が吹き、うねりを伴いつけている所がある。
- ② 台風第3号が日本の東を北北西進。
- ③ 500hPa 5880m以上の高度の領域が南西諸島～本州付近を覆い、地上では高気圧が朝鮮半島付近にあってゆっくり東南東へ移動。全国的に気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。また、大気の状態が不安定となっており、東日本では激しい雨を解析、雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第4号は、8日にかけて東シナ海を北上し、その後は進路を西向きに変えて、9日は華南に進んで次第に熱帯低気圧に変わる。台風の周辺では、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くしける所がある。沖縄地方では8日にかけて強風や高波に注意。また、9日は、先島諸島付近に低圧部が発生して停滞する。台風や低圧部に向かって流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨が降って大雨となる所がある。南西諸島では9日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の台風第3号は、8日にかけて日本の東を北上。また、7日夜までに千島近海で前線が顕在化して南下し、台風第3号はこの前線上で8日夜までに温帯低気圧に変わり、前線が9日は北日本を通過して能登半島付近にのびて停滞する。
- ③ 1項③の500hPa 5880m以上の高度の領域は、9日にかけて朝鮮半島～本州付近に停滞。地上の高気圧は、8日夜にかけて日本海を東へ移動し、その後は次第に不明瞭化する。また、8～9日は、高気圧が日本のはるか東から日本の東に張り出す。これらの高気圧に緩やかに覆われて晴れて気温が上昇し、広く真夏日や猛暑日となる所がある。全国的に9日にかけて、熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、日中の昇温や高気圧縁辺を回って2項②の前線へ向かって流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。西～北日本では9日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：関東甲信・東海100mm。② 波浪(明日まで)：沖縄5m。③ 高潮(明日まで)：西～東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第4号に関する全般気象情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。